

基本理念	基本目標	分野	福祉課題	福祉課題の実情	具体的な取り組み（条件づくり）	校区社協としての取組
地域福祉を育むまちーひよし	安全で安心して暮らせるまち	高齢者	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢化率26.6%</li> <li>●孤立化</li> <li>●社会参加</li> <li>●サロンの推進</li> </ul>	高齢世帯の増加 ●人との接触を好まない高齢者への声かけが難しい。 ●サロンは校区7町内のうち3町内が実施。 ●ボランティアや世話をする人の減少。 ●コロナ禍で外出も減り地域社会とのつながりの低下。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サロンへの理解と協力を進める</li> <li>●健康講話の実施</li> <li>●高齢者向けスマホ講座の実施（大学生ボランティアの活用）</li> <li>●日頃から声かけ見守り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サロンの推進と拡充</li> <li>●いきいき百歳体操の充実</li> <li>●命のバトンの継続と更新</li> <li>●ふれあいランチサービス</li> <li>●日吉校区敬老のつどい開催</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>●心身の健康</li> <li>●体力維持</li> <li>●健康管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●若い世代との交流機会が減少している。</li> <li>●認知症が進み介護が必要となり入院や施設入所者が増えた。</li> <li>●コロナ禍でサロンや老人会活動の中止等で体力の低下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者が気軽に集える場所を作り、世話をする人の育成を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●屋外でのいきいき体操の実施</li> <li>●人生会議の講演実施</li> <li>●認知症についての講演会開催</li> <li>●特定検診の呼掛け</li> <li>●ささえりあ熊本南各種講座（子ども～大人まで）オンラインでも可能</li> </ul>
		障がい児・者	<ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者の情報の把握</li> <li>●障がい者への理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい（実態）が把握できていない</li> <li>●障害を持っている人への接し方（対応）が分からない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●校区で通学可能な支援学校と小学校。又は地域との連携や交流を進め理解に繋げる。</li> <li>●障がい者（児）の親の悩みを聞く機会を設ける。</li> <li>●ヘルパマークの周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者支援に関する研修会の実施（障がい者サポーター研修、ヘルパマーク、差別解消法（合理的配慮）、虐待防止等）</li> <li>●障がい者相談支援センターの周知を行う。</li> </ul>
		子ども・子育て	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもの人権（児童虐待）</li> <li>●いじめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●家庭内での児童虐待の実態はよくわからない。</li> <li>●コロナ禍の影響で交流の場と機会が出来ていない。</li> <li>●共働き家庭が多く育成クラブ（小学生）を利用しているのが実状。 ●学校内外でのいじめの実態はよくわからない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●登下校の児童に積極的な挨拶や、やさしい声かけをして見守り活動を行う。（老人会等で） ●育児サークルひまわり、子育てネットワークの会の活用。</li> <li>●日吉小学校いじめ防止等対策委員会の活用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●赤ちゃん訪問（民生児童委員）</li> <li>●子育て支援ネットワーク 毎月1回開催</li> <li>●あいさつ運動（登下校時）</li> <li>●育児サークル「ひまわり会」毎月2回開催</li> <li>●育児サークルのお話し会や本の読み聞かせ、音楽会に地域の高齢者を招待する</li> <li>●まちづくりセンター主催のクイズラリーに親子で参加</li> <li>●日吉校区子育てサポートマップの作成</li> <li>●虐待に関する出前講座（区役所）</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもの貧困</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●PTA活動を含め保護者同士の交流が少ない</li> <li>●お母さん・子ども達の相談窓口が少ない。</li> <li>●学校や家庭の以外での子どもの居場所、少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域（隣近所を含めて人々の理解と協力が必要。育成クラブとの交流なども地域の人々も関わられるようにする。但し防犯上コロナ禍の問題もある。</li> <li>●育児サークルを魅力的・楽しく活気があるサークルへしていく。</li> <li>●子どもが家庭の中で和める場・憩いの場・交流の場を作れるよう啓発していく。</li> </ul>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヤングケアラー問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●情報が少なく実態の把握が困難。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●民生委員児童委員や校区社協と、学校との間で可能な限り情報共有を図る。</li> <li>●世代間交流</li> </ul>	
	みんなで声かけ助け合い	災害・防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>●防災に対する地域住民の意識の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2019年9月「日吉校区防災連絡会」及び「日吉校区避難所運営委員会」が策定されたが周知徹底が不十分。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ハザードマップの活用。</li> <li>●日吉校区防災研修会の開催。</li> <li>●第1回クロスロードによる研修会。</li> <li>●第2回HUG（避難所運営ゲーム）による研修会。</li> <li>●2020年・2021年熊本市震災対処実働訓練。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●災害の種類に応じた避難場所（町内毎）の周知・把握と利用しやすさの把握（高齢者や障害者、小さい子ども等が利用しやすいかどうか）</li> <li>●避難所運営委員会との連携を図る</li> <li>●関係機関との連携</li> <li>●災害（地震、水害等）を想定した各種訓練を校区・町内で実施</li> <li>●親子で参加する行事を計画。</li> <li>●災害時に校区内で井戸水を供給できる箇所（事業所・家）の情報把握とマップ作成。 ●地域版ハザードマップの見直し</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>●災害時の避難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●防災クラブはあるが一回も町内での訓練が無い。（校区でも）</li> <li>●災害時の避難等で安全に避難することができない。</li> <li>●近所に若い人がいないので助け合うことが困難。</li> <li>●地域における指導者が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●防災訓練の実施。（4・10月）</li> <li>●地域の危険箇所の把握、避難施設（電話番号も含む）を書き出して見えるところに掲示する。持ち出し品や食料、日用品等家族間の連絡網の徹底をする。</li> <li>●災害時要援護者の情報を共有する。</li> </ul>	
	ふくし（心）のきずな（あわせ）は	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の団体役員の担い手が少ない。 ●世代間の交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●校区自治会その他ボランティアに依存度が高く負担が増え活動参加者が減少している。</li> <li>●コロナ禍で地域行事が開催できていない。</li> <li>●次世代の担い手がいない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●若い世代、特にPTAとの交流を活発化する。各団体の事業のPRに努める。</li> <li>●イベントや広報等に企業・事業所の協力を求める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自治協とPTAとの交流を深める</li> <li>●子供を巻き込んだ共催事業の開催</li> <li>●大先輩宅訪問（中学生対象）</li> <li>●ジュニアヘルパー事業（小中学生対象）</li> <li>●社協だよりの作成（年1回2～3月）</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域のゴミ問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●違う場所から車で来てゴミを置いていく。ゴミを取った後も置いていく人がいる。</li> <li>●自転車の走行や歩行に危険な箇所がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●掲示板設置等の広報活動で危険箇所やゴミ出しルールの周知徹底を図る。</li> </ul>	